



県立芸術文化観光専門職大学



上田 勝幸 議員

県立芸術文化観光専門職大学がこの4月・豊岡市で開学された。テレビを観ていたなら、あるテレビ局が「奇跡のまち豊岡」という特集を組み放映すること。

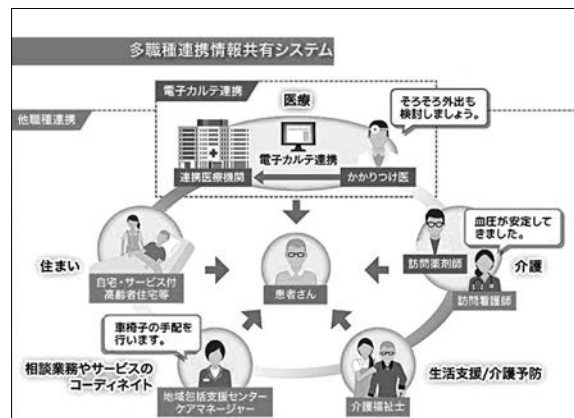
放映されれば大変な反響を呼び、世の耳目を集めるのは必然だと思つ。今、コロナ禍の影響でオンラインの活用・テレワークなどで都会から田舎への人口移動が始まりつつあると報道されている。大学の開設は人口移動の最たるものだと思う。大学には夢や希望がある。香美町も職員を出向させており、大学に大きな期待を寄せていると思う。

町長 大学は3市2町の兵庫県への強い要望により設置されたもので、「地域リサーチ&イノベーションセンター」を拠点とした地域創生に期待しています。連携により本町が抱える課題を調査分析し、本町の活性化に向けた助言や提案を頂ける関係構築のためサポートします。

町として大学とのかかわりは 学生活動をサポートします



どんなスタンスか。



多職種連携情報共有システム



吉川 康治 議員

在宅医療や在宅介護を希望しておりながら、こ

地域包括ケアシステムのICT整備は？ 予算化も含めて対応を詰めて検討します



の制度に漏れて受けられていない方に、その福祉の隙間を埋めるためにもICTの活用をスタートすべきで、現状でそのイメージもできていないのであれば遅い。2025年までにどのようなスケジュール感で整備を考えているのか伺う。

町長 今は美方郡の中でも具体的な組み立てが出来ておりませんが、できる限り2025年に対応できるように広域連携の中でも議論を進めてい

きたい。ただ一方で、それぞれに関連する部署も、それに向けて対応を強化していかなければなりません。2025年に構築しようとするれば、逆算して予算化も含めてどのような対応ができるかについては、福祉課、病院も含めて検討をします。